

安全の工夫

現場における「フルハーネス」の使用による安全啓発



- ・ハーネスの使用が先行する職種は、墜落の危険性の高い足場の組立・解体、建築物等の鉄骨の組立等の作業を専ら行うとび職である。近年の安全帯は積極的に使用する時代になり、より安全性の高いハーネスへの使用が高まっている。

以下にハーネス使用における利点欠点を表記した。

- ハーネスの長所 ~
 - ・墜落時衝撃が体全体に広く分散される。
 - ・墜落の衝撃で内蔵等の体の損傷の可能性低い。
 - ・衝撃が分散し頭部が上になり姿勢が制御される。
 - ・宙づり姿勢が体にやさしくほぼ苦痛を伴わない。
- ハーネスの短所 ~
 - ・胴ベルト安全帯より高価である。
 - ・ランヤードが胴ベルト安全帯のものより長い。
 - ・慣れないと装着に時間がかかる。